

医薬品・医療材料に係る調査及び検査・画像診断に関する調査 について

1. 調査の目的

(医薬品・医療材料に係る調査)

- DPC 導入により、後発品への転換等の薬剤に係る効率化が促進しているなか、抗がん剤を中心に高額薬剤を使った治療の方針および使用量に変化がなかったか、またそれが適切なものであったかを検証する。
- 併せて、医療安全に対する取り組みの調査ならびに評価を行う。

(検査・画像診断に関する調査)

- 入院が DPC により包括評価されたことにより、検査、画像診断の実施の効率化が進んでいる。また、従来入院医療で実施されていた検査、画像診断のうち、外来で実施可能なものについては、外来で実施する傾向が強まっている。
- そこで、DPC 導入により、入院医療における検査、画像診断の外来へのシフトなど治療方針が変化したか等を検証する。

2. 班構成

(医薬品・医療材料に係る調査)

- | | |
|--------|---------------------|
| ◎伊藤 澄信 | 順天堂大学医学部教授 |
| 谷川原 祐介 | 慶応義塾大学医学部教授 |
| 山口 俊晴 | 財団法人癌研究会附属病院消化器外科部長 |

(検査、画像診断に関する調査)

- | | |
|--------|-------------|
| ◎斉藤 寿一 | 社会保険中央総合病院長 |
| 原 正道 | 横浜市立大学医学部教授 |
| 渡辺 晴明 | 慶応大学医学部教授 |
- 注：◎は、班長

3. 調査方法

(1) 調査内容

以下の内容について、アンケート方式で調査を行うとともに、必要に応じて基礎患者調査データを参照しつつ、現状の把握と検証を行う。

① 医薬品使用に係る医療機関調査

- 後発品の使用実績について品目数の変化および金額面でのシェアについて実態を把握する。
- 入院における抗がん剤のプロトコル並びに使用実績を確認する。また、同じ期間で使われた入院並びに外来での特定の抗がん剤の使用実績を比較し、化学療法が外来にシフトしているのか、あるいは短期入院主体で使用されているのかを把握する。
- 医療安全に対する取り組みの調査並びに評価を目的として、医療安全のために使用されている割高な医薬品リドクイック（キロカインシリンジ）やメディジェクト K（高濃度 KCL キット製剤）などの使用状況を把握する。

②検査・画像検査・投薬および注射に係る医療機能調査

- 包括されている検査、画像検査、投薬および注射について入院で実施か入院外で実施か、回数面、使用医薬材料面で DPC 導入前と導入後で変化していないかを把握する。
- MDC 毎に診療科別にアンケート調査を実施して、どのような変化がおこっているかについて検討する。

(2) 調査対象病院

全医療機関：DPC 対象病院・DPC 試行対象病院
DPC 調査協力病院・DPC 新規調査協力病院

(3) 調査票

①調査票 1 (別紙 1)

- ・ 後発医薬品の種類、数等に係る調査
- ・ 抗癌剤治療レジメン（プロトコル）数の変化に係る調査
- ・ 抗がん剤の使用状況に係る調査
- ・ 医療安全に対する取り組みに係る調査

②調査票 2 (別紙 2)

- ・ 検査・画像検査の治療標準等に関する調査
- ・ 外来へのシフト、行為回数などの変更有無について調査
- ・ 医療の品への影響についての認識の調査
- ・ 投薬、注射の治療標準等に関する調査

4. 調査の実施状況

1月14日 調査票の発送

2月10日 データ提出期限(データ収集状況の詳細は、別紙3)

2月14日～ データ入力・エラーチェック・データ集計等

5. 調査結果

- ・ 現在までに回答をいただいた病院は調査票1が235病院である。調査票2は227病院から5,486診療科の回答を得た。集計結果を別紙3に示す。

※ 上記の他、検査・画像診断に関しては、社会保険病院を対象として、現在、入院医療における検査、画像診断の外来へのシフトがどの程度おこったのか等の検証のための集計を実施した。集計結果を別紙4に示す。

DPC 導入の影響評価に係る調査
医薬品に関する医療機関調査・調査票 1 (医療機関調査票)

貴院名 _____

貴院における DPC 導入時期：平成 15 年 ____ 月

1. 後発医薬品の使用状況に係る調査

(1) DPC 導入前後において貴院で購入した後発医薬品^(注1)の品目数(種類)^(注2)、合計数量、その医薬品購入費に占める金額シェアを記入してください。

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
品目数 (種類)				
合計数量				
医薬品購入費に占める 金額シェア (%)	(%)	(%)	(%)	(%)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
品目数 (種類)				
合計数量				
医薬品購入費に占める 金額シェア (%)	(%)	(%)	(%)	(%)

(注1) 診療報酬における後発医薬品を「後発医薬品」としてカウントしてください。

(注2) 規格(含量)違い製剤は各々1品目(種類)としてカウントしてください。

(2) その他、DPC 導入前後で、貴院での医薬品の購入方針・実績に変化があった場合は、その概要を以下に記載してください。

2. 抗がん剤の使用状況に係る調査

(1) DPC 導入前後での貴院における抗がん剤治療レジメン（プロトコル）の数を記入してください。

	平成 14 年 10 月	平成 15 年 4 月	平成 15 年 10 月	平成 16 年 4 月	平成 16 年 10 月
抗がん剤治療レジメン (プロトコル) 数					
上記のうち 造血器腫瘍					
肺がん					
胃がん					
大腸がん					
乳がん					

(2) 以下の医薬品について、DPC 導入前後での入院及び外来における使用実績を記入してください。

貴院における外来化学療法専用室の設置時期：平成 年 月

アドリアシン（ドキルタシン）

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
入院	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)
外来	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
入院	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)
外来	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)

ファルモルピシン（エドルタシン）

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
入院	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)
外来	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
入院	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)
外来	(瓶)	(瓶)	(瓶)	(瓶)

タキソテール（ド[®]セキル）

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
入院	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)
	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)
外来	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)
	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
入院	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)
	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)
外来	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)	20mg (瓶)
	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)	80mg (瓶)

タキソール（パ[®]ケキル）

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
入院	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)
	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)
外来	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)
	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
入院	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)
	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)
外来	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)	30mg (瓶)
	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)	100mg (瓶)

パラプラチン他（加ホ®プラチン）

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
入院	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)
	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)
	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)
外来	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)
	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)
	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
入院	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)
	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)
	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)
外来	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)	50mg (瓶)
	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)	150mg (瓶)
	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)	450mg (瓶)

3. 医療安全に対する取組みに係る調査

(1) 以下の医薬品について、DPC 導入前後での購入実績を記入してください。

	平成 14 年 7 月～9 月	平成 14 年 10 月～12 月	平成 15 年 1 月～3 月	平成 15 年 4 月～6 月
リドクイックシリンジ (リドカイン)	(筒)	(筒)	(筒)	(筒)
メディジェクト K (塩化加ハム)	(管)	(管)	(管)	(管)
セファメジン キット (セファゾリン Na) ^(注)	(キット)	(キット)	(キット)	(キット)
ヘパリンシリンジ (ヘパリン Na) ^(注)	(筒)	(筒)	(筒)	(筒)

	平成 15 年 7 月～9 月	平成 15 年 10 月～12 月	平成 16 年 1 月～3 月	平成 16 年 4 月～6 月
リドクイックシリンジ (リドカイン)	(筒)	(筒)	(筒)	(筒)
メディジェクト K (塩化加ハム)	(管)	(管)	(管)	(管)
セファメジン キット (セファゾリン Na) ^(注)	(キット)	(キット)	(キット)	(キット)
ヘパリンシリンジ (ヘパリン Na) ^(注)	(筒)	(筒)	(筒)	(筒)

(注) 全ての規格の数量を合計して記入してください。

(2) その他、DPC 導入前後で、医薬品の使用方法に関連した、貴院での医療安全に対する取組みに変化があった場合は、その概要を以下に記載してください。

3. 内服薬について

- (1) D P C実施病院では総じて内服薬の出来高換算額が減少しています。貴院貴科ではD P C導入により変化がありましたか(あてはまるものすべてに)をつけてください)
- i. 使用している薬剤の内容を見直し、必要な薬品数に絞るようにした。
 - ii. 中止が可能な薬剤についてはできるだけ中止するようにした
 - iii. 処方日数を短くした
 - iv. 後発品に変更した
 - v. 入院前の外来受診時に長期処方を行うようにした
 - vi. 特に変化なし
 - vii. その他 具体的にお答えください
()
- (2) 上記(1)に関連して、医療の質はどのような影響がありましたか?
- i. 医療の質は向上した。
具体的にお答えください()
 - ii. 医療の質は変わらない。
 - iii. 医療の質が低下した
具体的にお答えください()

4. 注射薬について

- (1) D P C実施病院では総じて注射薬の出来高換算額が減少しています。貴院貴科ではD P C導入により変化がありましたか(あてはまるものすべてに)をつけてください)
- i. 使用している薬剤の内容を見直し、必要な薬品数に絞るようにした。
 - ii. 中止が可能な薬剤についてはできるだけ中止するようにした
 - iii. 処方日数を短くした
 - iv. 後発品に変更した
 - v. 特に変化なし
 - vi. その他 具体的にお答えください
()
- (2) 上記(1)に関連して、医療の質はどのような影響がありましたか?
- i. 医療の質は向上した。
具体的にお答えください()
 - ii. 医療の質は変わらない。
 - iii. 医療の質が低下した
具体的にお答えください()

別紙3

調査票1 調査対象施設と回答数

施設分類	調査依頼施設数	回答施設数	回答率
DPC病院	82	82	100.0%
DPC試行的適用病院	62	62	100.0%
DPC調査協力病院	20	16	80.0%
DPC新規調査協力病院	84	75	89.3%
合計	248	235	94.8%

(注)調査依頼施設数とは調査票を送付した施設の数であり、調査参加を辞退した11病院を含む。

後発品採用の推移調査粗集計結果（品目数、金額シェア）

品目数と金額シェア調査で平成14年から16年の3年間を通して回答が得られた病院に限定して集計を行った。

施設分類	項目 (平均値)	分析対象 施設数	14年		15年				16年	
			7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
DPC病院	品目数	66	65.4	68.3	68.3	74.1	75.5	77.6	77.7	81.1
	金額シェア	58	1.28%	1.46%	1.43%	1.79%	1.92%	2.02%	2.24%	2.39%
DPC試行的適用病院	品目数	42	69.9	75.1	75.4	80.5	79.4	82.5	80.9	83.9
	金額シェア	43	3.48%	3.71%	4.18%	4.40%	4.74%	4.79%	4.98%	5.03%
DPC調査協力病院	品目数	10	57.7	75.3	78.0	79.3	78.0	83.4	80.0	86.2
	金額シェア	10	2.43%	3.30%	3.78%	4.19%	4.19%	3.98%	4.20%	4.02%
DPC新規調査協力病院	品目数	53	60.2	63.4	62.1	63.7	64.6	67.2	65.2	67.3
	金額シェア	51	3.78%	4.06%	4.21%	4.15%	4.37%	4.62%	4.49%	4.61%
合計	品目数	171	64.4	68.9	68.7	72.7	73.2	75.9	74.7	77.8
	金額シェア	162	2.72%	2.99%	3.18%	3.37%	3.58%	3.69%	3.80%	3.89%

(注)金額シェアの単位はパーセント。

抗がん剤治療レジメン(プロトコル)数調査中間集計結果

調査内容	施設区分	分析対象 施設数	平成14年 10月	平成15年 4月	平成15年 10月	平成16年 4月	平成16年 10月
抗がん剤治療レジメン (プロトコル)数	DPC病院	54	93.7	99.9	105.3	116.4	121.9
	DPC試行的適用病院	25	40.8	42.0	43.0	46.7	51.4
	DPC調査協力病院	5	60.2	73.2	79.0	81.4	83.2
	DPC新規調査協力病院	26	29.6	31.7	33.6	35.4	37.0
	合計	110	65.0	69.4	73.0	79.8	84.0
上記のうち 造血器腫瘍	DPC病院	51	28.3	29.3	30.3	31.7	31.6
	DPC試行的適用病院	13	29.6	29.2	30.4	31.8	37.1
	DPC調査協力病院	3	29.0	34.3	38.7	41.0	41.3
	DPC新規調査協力病院	11	15.5	16.5	16.5	17.8	17.5
	合計	78	26.8	27.6	28.7	30.1	30.9
肺がん	DPC病院	53	14.2	15.3	16.6	18.8	19.2
	DPC試行的適用病院	16	8.3	9.1	8.9	9.8	9.8
	DPC調査協力病院	4	11.5	13.5	14.5	15.8	15.8
	DPC新規調査協力病院	19	6.6	7.3	7.8	8.3	8.6
	合計	92	11.5	12.5	13.4	14.9	15.2
胃がん	DPC病院	53	9.0	9.5	10.2	11.1	11.8
	DPC試行的適用病院	22	5.0	4.8	5.2	5.8	5.5
	DPC調査協力病院	4	6.5	6.5	6.8	6.8	7.8
	DPC新規調査協力病院	25	4.2	4.2	4.3	5.0	5.1
	合計	104	6.9	7.1	7.6	8.3	8.7
大腸がん	DPC病院	54	6.6	7.3	7.7	8.4	9.1
	DPC試行的適用病院	20	3.3	3.3	3.5	3.6	3.6
	DPC調査協力病院	6	4.2	4.8	5.2	5.0	5.3
	DPC新規調査協力病院	23	3.6	3.8	4.1	4.7	4.8
	合計	103	5.2	5.6	5.9	6.5	6.8
乳がん	DPC病院	55	8.4	9.3	9.8	11.6	11.8
	DPC試行的適用病院	16	6.5	6.0	6.8	7.2	8.7
	DPC調査協力病院	6	5.2	5.7	6.2	5.8	5.7
	DPC新規調査協力病院	23	5.8	6.0	6.2	6.5	6.3
	合計	100	7.3	7.8	8.3	9.4	9.7

(注)平成14年から平成16年まで通して回答のあった病院に限定して集計